3. JTB神戸支店　【三宮・元町エリア】

交流創造事業が目指す、持続可能なツーリズム産業

「持続可能なツーリズム産業」の実現へ

JTBグループは、交流する人が増えるほど地域や人権、環境の課題が解決し、更なる社会の発展につながる持続可能なツーリズム産業をリードしていきます。ツーリズム産業は宿泊施設や旅行会社等だけでなく、飲食店や環境・自然保護団体といったNGO、農林水産業、IT 産業等の多くのツーリズム関連産業で構成されています。私たちは、パートナーや地域と協力し、①環境負荷を減らす交流の拡大、②環境についての地域との相互理解の拡大を行い、③サステナビリティに資するあらゆる交流の拡大を行うことで、④訪問先に対する思いやりや配慮を育み、更なる感動機会の拡大を目指します。

心豊かなくらし　**人々をとりまく環境**　**パートナーシップ**

プログラムスケジュール例

10:00～　JTBのサステナビリティについて

10:20～　カーボンニュートラルとは？
・CO_2ゼロ旅行の取組み　等

11:00頃～　ワークショップ

12:00　終了

実施場所：株式会社JTB神戸支店
神戸市中央区京町70番松岡ビル
実施時間：平日　10:00から17:00の間
所要時間：約2時間
実施可能人員：15名～40名
実施費用：お一人様　1,500円＋事務手数料
貸切バス駐車場：なし（回送要）
電車最寄駅：JR三ノ宮駅、阪神・阪急神戸三宮駅下車徒歩約10分

① 身近な修学旅行からJTBの取り組みを知る

JTBは、2007年よりエコツアーブランド「GreenShoes（グリーンシューズ）」や「LOVEARTH（ラバース）」などの旅行商品を中心に「CO_2ゼロ旅行」を販売してまいりました。「CO2ゼロ旅行」には延べ17,765名が参加し、総発電量914,200ｋWhの自然エネルギーを調達することで、旅行の際の移動などで排出されたCO_2を相殺しました。このカーボンオフセットの仕組みを利用して削減したCO_2量は、447トンに相当します。「未来の子どもたちのために、少しでも美しい地球を残したい」「子どもたち自身にもSDGsへの関心を高めてほしい」そんな思いからこのプログラムは生まれました。この取り組みの学習を通して、「温室効果ガス削減」「地球温暖化」「カーボンニュートラル」といった地球規模の課題を、一緒に考えてみませんか？

②ワークショップを通してカーボンニュートラルを学ぶ

2020年10月、日本政府は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。日本としても大きな決断をしたものの、未来への課題は山積みです。技術の進歩や産業構造の変化の中で、私たちができることとは…環境省が作成した動画『2100年 未来の天気予報』を題材に、地球温暖化対策による影響・被害の可能性についてカーボンニュートラルに関する基礎的な知識を抑えながら、日々の行動の中でできることを考えるワークショップを提供します。

③ ツーリズム産業に働く人にとって必要なことを学ぶ

ツーリズム産業に働く人にとって、何が重要か、今日から自分で実践できることはないかどうか考える機会を提供します。

※別途、事務手数料が必要となります【神戸市に宿泊の場合⇒１人あたり700円（税込）、日帰り・神戸市外に宿泊の場合⇒１人あたり1,000円（税込）】

3. JTB神戸支店　【三宮・元町エリア】

学習のポイント

① 身近なものからSDGsを学ぶ
② 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国レベルの取組を学ぶ
③ 自分たちに「できること」を自ら考える

学習の流れ（モデル）

	事前学習	現地学習	事後学習
SDGs探究の観点	●カーボンニュートラルについて調べる。 ●温室効果ガスや気候変動によって、社会や環境にどのような影響が生じているのかを調べる。	●様々な旅行を通じたJTBのCO_2削減への貢献について学ぶ。 ●気候変動に対して、自分達でどんなことができるかを考える。	●自分たちの学校生活や家庭での生活において、どういったCO_2気候変動への取組みができるか考える。
キャリア教育の観点	●JTBで提供する旅行と、そこで働く社員の仕事がどのように社会の役に立っているのか？を考える。	●JTBが提供しているソリューションについて知る。 ●旅行を「手段」とした社会への貢献を見出す。	●将来、自分がどのように社会に関わっていきたいか？を発表する。